

## ASEAN グローバルプログラム に参加して

梶 冬美花  
Fumika TSUTSUMI  
物質化学科 2年

### 1. はじめに

私は、2018年8月28日から9月6日にベトナムのハノイとシンガポールで行なわれた ASEAN グローバルプログラムに参加した。このプログラムでは、現地企業との交流や現地大学生との PBL 活動、現地大学訪問などのプログラムを行なった。具体的なプログラムの日程を表に示す。

表 ASEAN グローバルプログラム日程表

日程	スケジュール
8/28	午前／出国 午後／オリエンテーション
8/29	終日／現地企業訪問
8/30	終日／現地大学生との PBL
8/31	終日／現地大学生との PBL
9/1	午前／市内観光 午後／自由時間
9/2	午前／シンガポールへ移動 午後／自由時間
9/3	終日／現地大学見学
9/4	午前／現地企業訪問 午後／現地ビジネスマンとの交流会
9/5	終日／自由時間
9/6	午後／帰国

### 2. 参加目的

私がこの研修に参加した目的は2つある。1つ目は、現在の英語力の把握とその向上である。私は昨年度、大学での Intensive English Program に参加し、英語で会話することの楽しさや難しさを体感した。昨年度のプログラムで学んだ事を受けて、実際に海外で英語がどの程度伝わるのか試し、さらに現在持

っている英語力をより伸ばしたいと思った。2つ目は、日本と海外の違いを学ぶことだ。私は将来、海外で就職する事を考えており、そのために、「観光」から一歩踏み込んだ現地の文化や生活環境、労働環境を知っておきたいと思っていた。大学二回生の長期休みという時間のある時期だからこそ、これらの目的を達成するために、今まで踏み出せなかった一歩を踏み出し、この研修に参加しようと考えた。

### 3. 研修内容

ここでは、今回の研修で特に印象に残った以下の2つのプログラムについて報告する。

#### 3.1 ハノイ工業大学での PBL

8月30日と31日の二日間、ハノイ工業大学の学生2名と龍谷大学の学生5名の計7名で班を作り（プログラムでは合計8班）、PBL 活動を行なった。今回のテーマは「ベトナムで売れるキャンディーを開発する事」であった。私は、この活動では参加目的の一つである英語力を高めることに焦点を置いた。PBL 形式の活動には、会話は必要不可欠であり、日本語の分からないベトナム人学生と英語で話し合うため、英語の学習を進める良い機会だと考えた。私は今までの学習から、英語で話すには表現を変えながら何度も伝えることが大切だと考えていたため、この方法で自ら会話を進めていった。最初はうまく会話ができていないか不安ではあったが、同じグループのベトナム人学生に、「積極的に話してくれてありがとう。」と言われ、今まで学習してきたことが、実を結んだ気がした。しかし、何度も言い換えることで、元々言いたかったことが変わっていると自分で気づくこともあり、言いたいことが全く伝わらないこともあった。また、リサーチ結果をまとめている時間には、同級生の中に一度で言いたい事を伝えられる事もあるのに気づき、自分の会話の効率が悪い場合もあるという課題にも気づけた。

ハノイ工業大学でのリサーチ後も、PBL の学習を進めるためにベトナム人の学生と Facebook で話



写真1 ハノイ工業大学でのPBL(交流)風景

しあう必要があった。対面の会話とは違い、文面にして伝えることは思っていたよりも伝わりやすいと感じた。これは、今までの学習で、書いて覚えることが多かったことが影響しているのではと考えた。このように、今回のPBLを通じて、自分の英語力のムラと語彙力の無さを痛感した。今後は、これらを補って行けるような勉強を進めていこうと思った。

### 3.2 WASABI creation 社への会社訪問(講演会)

シンガポールでは、現地企業のWASABI creationへ訪問、トン社長の講演に参加するプログラムがあった。WASABI creationとは、主に日本企業の海外進出のサポートを行なっている会社である。トン社長からは、主にグローバル人材のあり方についてのお話を聞いた。その中で、グローバル人材になるためには以下のことが必要だと仰られていた。1つ目は「チャンスを探すこと。なければチャンスを作ること。」だ。今まで私は、チャンスを探すことは大切だと感じていたが、チャンスを作ることは初耳だった。自らチャンスを作れる人間になりたいと思った。2つ目は、「海外に行き、社会を感じること。」で、3つ目は「外国語を学ぶこと。」だ。この二つは、今までやってきたことではあるが、より一層の努力が必要だと感じた。ここで、最も印象に残っ



写真2 WASABI creationでの講演の様子

ている言葉がある。「日本人は投資をしない。自分の将来のために投資をすることを怯えないで。」という言葉だ。この話を聞いたとき、自分の現状とリンクしている、と強く感じた。私自身、就職するか大学院に進学するかを考える際、費用面で大学院進学を候補に入れない人が多いと感じていた。もっと自信を持ち、自分の将来に投資をすることを恐れないようにしないといけないと感じた。今回のお話を通じて、グローバル人材について明確になり、グローバル人材を目指して、できることから少しずつ学修を進めていこうと決心した。

## 4. おわりに

今回、このプログラムに参加してよかったと思う。日本で生活しているだけでは気づけなかったであろう自分の英語に関する課題と、今まで知識のなかった海外で働く人になるために必要なことを知れ、自分のこれからを見つめ直す良いきっかけとなった。今後は、私が興味を持つ化学の知識や技術を通して、海外に目を向けて行きたいと思った。そのために、これからも英語の学修を積み重ねるとともに、化学の知識を広げていくことの大切さも再認識した。

このプログラムでの経験を大切にする一方で、今後、このようなプログラムがあればまた参加したいと思う。